

すべての子どもが、学びの価値を見出すために

幸せのまなび場

PRESENTER
FUROSHIKI班

太宰府市 杉村

田川市 高原

八女市 鹿野



テーマ： こどものウェルビーイング向上のための学習支援



学びの価値

子どもの可能性を
広げるカギ

心身の健やかさを育む
重要な土台



地域への効果

地方での学び充実



定住促進・世代間交流



地域の持続可能性向上



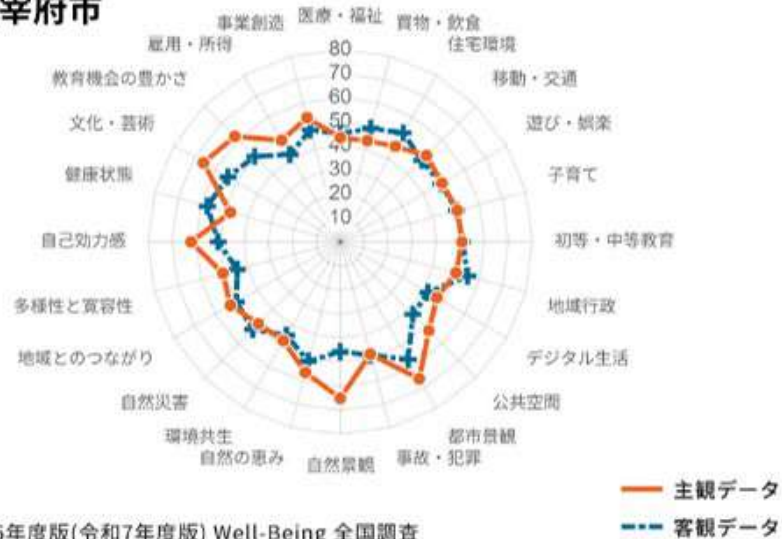
政策提言

すべてのこどもに幸せな環境を

幸せの学び場

カテゴリー別

太宰府市



【出典】2025年度版(令和7年度版) Well-Being 全国調査

カテゴリー別

田川市



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

カテゴリー別

八女市



【出典】2025年度版(令和7年度版) Well-Being 全国調査

それぞれの自治体の
ウェルビーイング指標を比較

問題の本質：ウェルビーイングが『大人目線』

指標の設定自体が、当事者の実感と乖離している構造的な問題



大人の定義

「良いはず」の条件整備

客観的な条件

資源・予算投入

管理しやすい指標

GAP



子どもの実感

実際にどう感じているか

主観的な幸福感

安心感・信頼感

「自分」の尊重

教育に関するウェルビーイング指標の客観データ

教育機会の豊かさ

大卒・院卒者の割合
現可住地面積あたり大学・短期大学数
現可住地面積あたり私立・国立中高一貫校数
現人口あたり生涯学習講座数
人口あたり生涯学習講座受講者数地
人口あたり青少年教育施設利用者数
人口あたり女性教育施設利用者数

初等中等教育

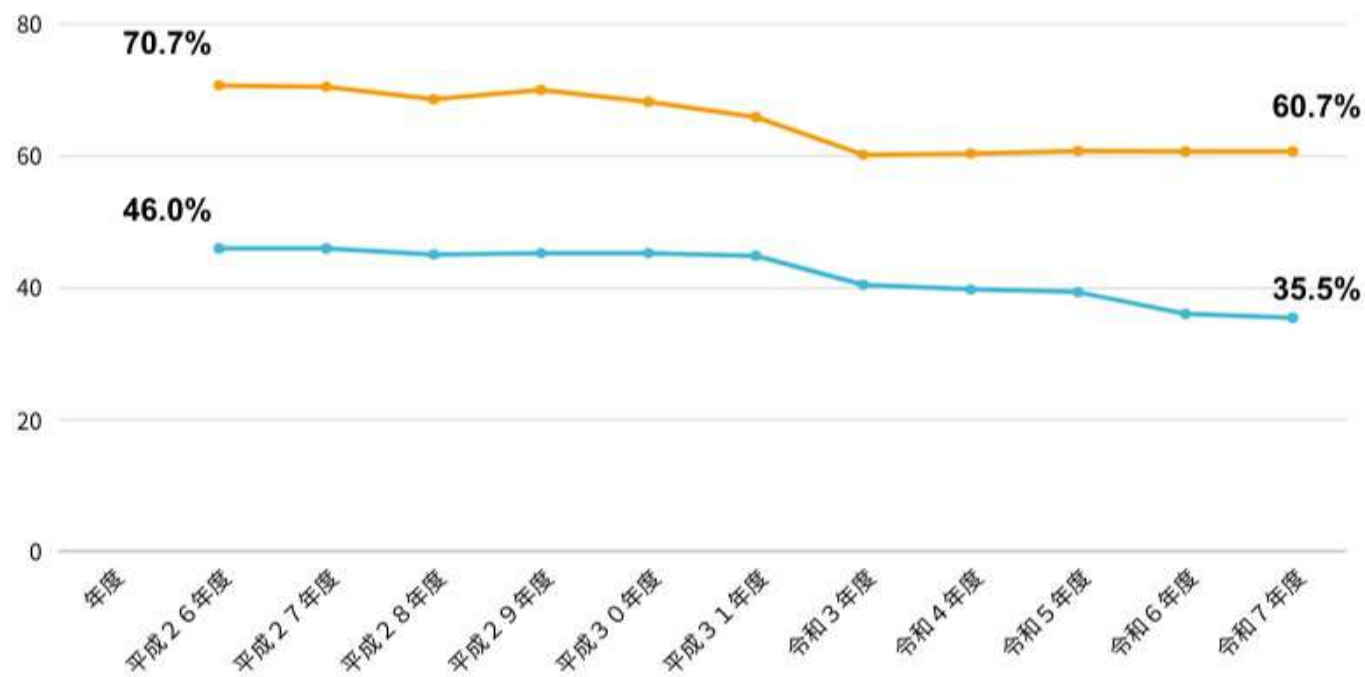
可住地面積あたり小学校数
可住地面積あたり中校数
可住地面積あたり高等学校数



統計データ：「意欲の格差」の拡大

「将来の夢や目標を持っている」と回答した割合の推移

○小学生 ○中学生



約 10%減

出典：文部科学省「令和7年度 全国学力・学習状況調査」

背景・現状の課題

子どもたちを取り巻く環境には、解決すべき **3つの大きな壁** が存在しています。



経済状況による
学習機会の格差

塾や習い事に
通うことが難しい

スタートラインが不平等な現状



意欲と自己肯定感の
著しい低下

「どうせ無理」と
将来を諦めている

学ぶエネルギーが湧いてこない



地方におけるロールモデル
体験機会の不足

身近に目標となる
憧れの大人が不在

将来の自分の姿をイメージできない

本企画の位置づけ：持続可能なモデルへの進化





F- LINK

**F-COMMUNITY
LEARNING**

**F STUDY
SUPPORT**

F PROJECT

Fにかける思い

- F**uture (未来)
- F**oster (育む)
- F**air (公平な)
- F**or all (すべての人のために)
- F**ukuoka (この福岡で)



F-COMMUNITY LEARNING

小学生向け

宿題サポート・
家庭学習習慣の獲得




 地域住民ボランティア

「学ぶ楽しさ」を育む 宿題の伴走と読書習慣で
学習の土台をつくる

中学生向け（基礎）

基礎学力獲得のための
伴走型学習支援



 大学生・経験者

「できた！」の積み重ね つまずき箇所まで
遡る個別最適化サポート

F-STUDY SUPPORT (収入要件あり)

中学生向け (応用)

難関高校合格を
目指す

進学対策学習塾



担い手



民間学習塾講師 (プロ指導)

- ✓ 入試対策特化のハイレベルなカリキュラム提供
- ✓ 定期的な到達度テストによる実力把握と進路指導
- ✓ 高い目標を持つ仲間との切磋琢磨

F-LINK：ロールモデル連携



小学生

地域体験プログラム



職業紹介



お仕事体験

将来の選択肢を知る > 憧れを持つ > 好奇心

中学生

地域出身の大学生・社会人との交流



先輩との交流会



オンライン対話

対話・相談 > 目標設定 > 学習への意欲

どんなに良い施策も 市民理解がなければ Well-beingは向上しない

なぜ市民の理解が不可欠なのか？



成果の不可視性

教育施策は長期視点が必要だが、
短期的には成果が見えにくい



協力体制の必要性

地域全体の協力があってこそ
子どもの教育環境は向上する



継続性の危機

ビジョンの共有がなければ、
選挙等で方針が変わり継続不可に

市民の自分事化を促進する方法

1

対話の場づくり

ビジョン策定段階から
ワークショップを実施



2

成功体験の共有

小さな成功事例を可視化し
市民と共に成果を実感



3

多様な参画機会

専門家だけでなく一般市民も
関われる仕組みを設計



4

透明性の確保

予算使途と成果の見える化で
信頼関係を構築



期待される効果（成果指標）



学力の向上

定期テスト平均点の向上



意欲の向上

夢・目標を持つ子どもの向上



地域活性化

住民ボランティアの増加

👤 子どもたちへの効果

- ✓ 学習意欲の向上と学力の底上げ
- ✓ 「居場所」ができることによる精神的安定
- ✓ 多様な大人との出会いによる視野の拡大

🏘️ 地域・行政への効果

- ✓ 教育格差是正への具体的アクション
- ✓ 不登校・中途退学リスクの低減
- ✓ 将来的な社会的コストの抑制

今後の展開スケジュール

Expansion Roadmap

STEP 1

基盤整備

庁内外の学習支援に関する
取り組みを調査、整理

予算確保

プロジェクトメニューの決定

STEP 2

理解促進

ワークショップの開催

関係部署との合意形成

協力者募集

STEP 3

実践、接続可能な
取り組みへ

Fプロジェクトの実践

評価

継続した協力者募集